

TOPICS

平城遷都 1300 年記念事業実施基本計画が発表される

2010 年（平成 22 年）に開催される平城遷都 1300 年記念事業（通称：「奈良 1300 年祭」）の実施基本計画が、2 月 7 日に発表された。全体の事業規模は 350 億円。記念イベントの開催は 2010 年 1 月 1 日からの 1 年間、1,500 万人の集客を見込む。2010 年 4 月 23 日からの半年間は、平城宮跡をメイン会場として平城京のにぎわいを再現し、500 万人を呼び込む。奈良の大きな節目となる事業の概要を紹介する。

記念事業のテーマ

「歴史文化との対話と交流」

「異なる文化を尊重し、相互理解を深めること」「自らの歴史や文化に触れ、経験価値を高めること」などを目標としている。

事業の構成

「平城遷都 1300 年記念事業」は、次の 4 つの事業群と 3 つの長期戦略プロジェクトで構成されている。

〔4 つの事業群〕

(1) 国際コンベンション事業

文化の多様性の尊重と世界遺産の持続可能性を追求する国際コンベンション事業に取り組む。

- ①ユネスコや日本政府と協働した「世界遺産・地球会議」
- ②「世界の宗教者による平和のための集い」の誘致
- ③東アジアを中心に世界の都城文化と交流する「世界都城・古都文化会議」
- ④関西の国際コンベンション施設を舞台とした各

種会議・フォーラム等の開催

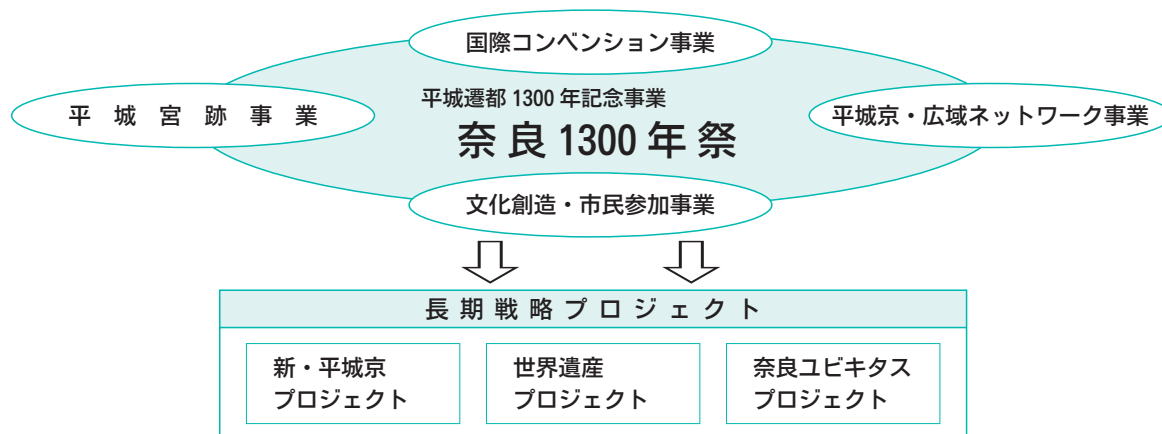
(2) 平城宮跡事業

特別史跡・世界遺産というかけがえのない価値を持つ平城宮跡を会場に、記念イベントの中核となる展示・催事等を行う。期間は 2010 年 4 月 23 日から約半年間。「人と歴史と文化」の関わりを体験できる「静けさと華やかさ」が共存する美しい交流のプラットフォームを創造する。

復原される第一次大極殿と朱雀門を結ぶラインをテーマ・シンボル軸と位置づけ、これに直交してゆるやかな回遊・交流軸を設定。この基本的な軸線に沿って会場を次の 4 つのゾーンに分ける。

①「テーマ体験ゾーン」

復原される大極殿をシンボリックな展示空間として活用する。また、大極殿と朱雀門の間に、朱雀大路のスケールと景観をよみがえらせたテーマ発信型の「平城京シンボルロード（幅 70m、長さ 800mm）」を設け、仮設パビリオンの設置、バザールとシンボルロードでのイベントにより、交



流とにぎわいの空間を演出する。

〔計画例〕

- ・大極殿シンボル館
- ・大極殿シアター
- ・平城京時空館
- ・天平文華館
- ・世界遺産・地球館
- ・世界遺産・日本館
- ・平城京バザール
- など

②「遺構体験ゾーン」

現在の平城宮跡の遺構表示を生かして、子供から大人まで1300年の時間・空間を楽しく体感できるオープンエア型の領域展示を行う。

〔計画例〕

- ・子ども歴史ミュージアム
- ・平城宮跡野外アートキャンプ

③「まほろば体験ゾーン」

万葉の優美で伸びやかな感性を感じさせるランドスケープの中で、各種の交流プログラムを展開する。

〔計画例〕

- ・万葉花回廊
- ・なら歳時記ミュージアム
- ・イベントホール&ギャラリー

④「ゲート・ターミナルゾーン」

近鉄線から大宮通に至る南のエリア。会場へのゲート機能と広域集客のターミナル機能を併せ持ったエリアとする。会場へは、平城宮跡近くで近鉄奈良線仮設駅を検討する。また、主要鉄道駅と会場との間を結ぶシャトルバスの運行や郊外の駐車場とを結ぶパーク&ライド方式を導入し、安全で利便性の高いアクセスルートを確保する。

(3) 文化創造・市民参加事業

市民が「世界に誇れる文化力」の創造の主体として、積極的に記念事業に参加・体験・交流できるプロジェクトを推進する。

- ①奈良2010年塾の活動を中心とした「文化ボランティア」の育成
- ②イベントの運営に積極的に参加する「運営ボランティア」との協働
- ③奈良の歴史文化の案内人「歴史文化インタープリター」の育成
- ④奈良の歴史文化が育んできた優れたデザイン・リソースを生かし、現代最高峰（クラシックな）生活文化芸術品の創造を目指す「奈良クラシック

ス」の推進

(4) 平城京・広域ネットワーク事業

「平城京」の1300年にわたる歴史文化と「奈良の都」の奥行きと広がりを感じられるネットワーク事業を推進する。

- ①奈良公園と平城宮跡を結んで展開する「平城京パレード」（記念事業を契機とした新しい祭りの創造）
- ②斑鳩・明日香・吉野など、奈良県全域を舞台としたアートプロジェクトの展開
- ③奈良の魅力を形成する社寺のプロジェクト
- ④奈良国立博物館や奈良県立美術館、奈良市写真美術館、奈良県立万葉文化館、あすか風舞台などの県内各種公共施設を活用したプロジェクト
- ⑤広域関西や平城京ゆかりの地との連携プロジェクト
- ⑥市民等の多様な主体による参加プロジェクト

〔3つの長期戦略プロジェクト〕

上記の4つの事業群の成果を将来に継承するため長期的視野に立った次の3つの長期プロジェクトを構築する。

(1) 新・平城京プロジェクト

記念事業における平城宮跡会場や広域ネットワークシステムの整備が、長期的視点に基づく「歴史・文化国際交流ゾーン」の形成や、「朱雀大路パークアベニュー構想」の実現に繋がるよう、戦略的に推進する。

(2) 世界遺産プロジェクト

国や国際機関との協調と協働により「世界遺産の持続可能性と創造的共生」をテーマとしたプロジェクトを戦略的に推進することにより、奈良・関西を新しい世界遺産運動のキーステーションへと成長させる。

(3) 奈良ユビキタスプロジェクト

奈良や関西が国際的な歴史文化観光都市となることを目指し、2010年の記念事業に効果的に活用すると同時に、記念事業後も継承されるようなICT（情報技術）関連プロジェクトを積極的に推進する。